

平成25年度第9回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門
兼 高校生ものづくりコンテスト2013東北大会旋盤作業部門予選会

山形県立新庄神室産業高等学校
事務局 佐藤 真

1 はじめに

6月16日（日）、高齢・障害・求職者雇用支援機構
山形職業訓練支援センターにて、「平成25年度第9回
高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部
門 兼 高校生ものづくりコンテスト2013東北
大会旋盤作業部門予選会」が開催された。前日15日
（土）は午後から練習会が行われ、参加選手がそれぞれ
本番で使用する旋盤の入念なチェックを行った。今年度
も酒田光陵、寒河江工、長井工、鶴岡工、新庄神室産、
山形工、米沢工、東根工から計8名の参加があり、「高
校生ものづくりコンテスト全国大会」と同じ課題に挑み、
日頃の旋盤加工の腕前を競い合った。



写真1 大会風景



写真2 大会風景

2 大会結果

大会結果は、以下の通りである。

優勝	・ ・ ・ ・ ・	100点
岡田 拓真（酒田光陵2年）		時間 1:58'
2位	・ ・ ・ ・ ・	71点
佐藤 和輝（山形工3年）		時間 2:25'
3位	・ ・ ・ ・ ・	66点
片桐 仁司（米沢工2年）		時間 2:15'

以下、鶴岡工、新庄神室、長井工、東根工と続いた。なお、寒河江工は制限時間超過であった。標準時間の2時間以内に完成させたのは優勝した選手1名のみであった。



写真3 大会参加選手

今年度よりまた全国大会の課題がより、めねじ切りの加工部品が増え、各学校の選手とも対応に苦慮している様子が見受けられた。何とか標準時間内に完成したものの、加工時間を要するかなり厳しい競技会であったと思われる。

3 生徒のアンケート

1) 調査内容より

- ・ 大会までの練習期間は、1ヶ月以内が3名、2ヶ月以内2名、3ヶ月以内が3名であった。
 - ・ 練習で製作した個数は、10個以上が6名(昨年5名)
- 2) 感想として (抜粋)
- ・ 作業中にいろいろな問題点に遭遇しながらも、精一杯作業することができ、自分の目標にしていたところまで出来たので良かった。
 - ・ 学校で練習の時使用した旋盤より大きくて機械操作の面で異なった箇所もいくつかあって戸惑った。
 - ・ 練習不足のせいもあったが、作業時間が短く時間内に製作するのが厳しかった。

4 おわりに

優勝した岡田君（酒田光陵）は、6月30日に宮城県で行われた東北大会に出場した。結果は第4位であった。最後に、大会開催において関係各位の多大なるご支援ご協力を賜り、この場をお借りして御礼申し上げます。